

後半戦です!

「ガールズ&パンツァー登場全戦車プラモ化プロジェクト」による「ガールズ&パンツァー 1/35 KV-2 プラウダ高校」は、タミヤOEM供給によりプラッツから発売されたキット。タミヤ製1:35 KV-2自体、長らく市場から姿を消していたキットであっただけに、「ガルパン」ファンではない戦車模型ユーザーにとっても朗報であったであろう。

再販を記念して山田卓司がジオラマ仕立ての作例を製作。設定画に近づけたモデルへと仕上げた。

プラッツ 1:35スケール プラスチック
キット ガールズ&パンツァー 1/35
KV-2 プラウダ高校
●発売元/プラッツ ●4752円、発売中
●1:35、約19cm ●プラキット

PLATZ 1:35 scale plastic kit
KV-2 "Pravda" High School use
the diorama build by Takuji YAMADA

「来た。ギガント。」



TAKUJI'S WORKS

履帯はモデルカステンの「SK-9 JS-II/IIIスターリン履帯 タイプA (可動式)」を使用。雪表現はT34/76と同様②~④設定に合わせて、車体上面後部、フェンダー後部を延長し、戦闘室前部のライト、ホーンの基部を自作。砲塔車長ハッチ基部は削り落とし作り直すなどした③KV-2の重量に合わせて深めの轍にしている。細かいこだわりが、情景を表現するジオラマには効果的なこだわり

プラッツ 1:35スケール プラスチックキット
ガールズ&パンツァー
1/35 KV-2 プラウダ高校 使用

「来た。ギガント。」

ジオラマ製作・文/山田卓司

プラッツのガールズ&パンツァーシリーズ1/35 プラウダ学園 KV-2です。キット本体はタミヤよりOEM供給されたキットで、古いキットゆえに模型店店頭で見つけるのも困難でしたが、アニメ本編の作画の参考にされたとも言われており、誰にも作りやすいその内容はずっと待ち望まれたものであることは確かでしょう。普通に

組み上げるだけなら半日もあれば充分なのですが、ガルパン原理主義者(笑)な私は色々手を加えて設定画に近づけてみました。

とりあえず最初にモーターライズ用の各部の穴をプラ板で塞ぐところからスタートです。改造はプラ板工作でも加工できるのですが、ストックしてあったタミヤ「KV-1B」からパーツをいくつか流用しています。履帯はモデルカステンの「SK-9 JS-II/IIIスターリン履帯 タイプA (可動式)」を使用。車体上面後部とフェンダー後部は少し下に延びているので、KV-1B車体上面パーツから切り取り延長しました。合わせて尾灯も少し下に移植しています。戦闘室前部ではライトを自作して小型化。ホーン基部らしきディテールもプラ板工作で追

加。ドライバーハッチと機関室の点検ハッチ2枚はタミヤの「KV-1B」より流用しました。砲塔では砲基部に照準口らしき穴を開く。車長ハッチ基部はモールドを削りプラ板で作ったリングで再現してから「KV-1B」よりハッチを流用。フェンダー上の燃料タンクは縁を薄く削ってシャープにしています。ワイヤーロープ部分は化繊の糸に交換。その取り付け具は設定画を参考に接着しました。

白い車体色を塗装してある想定とし、フラットホワイトからグレー数色でカラーモジュレーション塗装で仕上げました。地面の轍はT-34の物と深さを変えてKV-2の重量との差異を表現しています。